

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【四半期会計期間】	第61期第3四半期 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
【会社名】	株式会社ミルボン
【英訳名】	Milbon Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 龍二
【本店の所在の場所】	大阪市都島区善源寺町2丁目3番35号
【電話番号】	(06) 6928 - 2331 (代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理・経営戦略・内部監査・財務・コスメティクス企画担当 村井 正浩
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン
【電話番号】	(03) 3517 - 3915 (代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理・経営戦略・内部監査・財務・コスメティクス企画担当 村井 正浩
【縦覧に供する場所】	株式会社ミルボン東京本社 (東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン) 株式会社ミルボン名古屋支店 (名古屋市中区栄3丁目19番8号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第3四半期 連結累計期間	第61期 第3四半期 連結累計期間	第60期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	26,651,910	25,214,042	36,266,444
経常利益 (千円)	4,804,071	3,842,152	6,231,538
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	3,411,731	2,740,206	4,517,615
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,307,617	1,639,050	4,601,226
純資産額 (千円)	34,590,566	34,171,347	35,882,612
総資産額 (千円)	39,393,396	40,025,079	41,912,194
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	104.21	84.21	137.99
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	87.8	85.4	85.6

回次	第60期 第3四半期 連結会計期間	第61期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	43.14	39.66

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、主要な関係会社の異動については、新たに設立した Milbon(Zhejiang) Cosmetics Co.,Ltd. を連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済の停滞が続いていることにより、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除後、経済活動は徐々に再開されましたが、ここにきて欧米を中心に感染症は一進一退を繰り返しており、先行きについても楽観できない状況となっています。

美容業界におきましても、5月下旬の緊急事態宣言の解除により、美容室に顧客は戻り始めていますが、都市部の美容室では、まだ顧客が十分に戻っていないところも多く、今後の感染症の動向に留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、美容室、代理店、そして社員の安全を最優先にしながら、あくまでも美容室に寄り添う市場活動を工夫しながら続けてまいりました。また海外においては、韓国が前年同期売上高を上回るまで業績が戻ってきております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、前年9月の消費税増税前の駆け込み需要の影響を受けながらも業績の落ち込みを最低限に押さえ、252億14百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は43億7百万円（同16.8%減）、経常利益は38億42百万円（同20.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億40百万円（同19.7%減）となりました。

部門別売上高及び国内海外別売上高は次のとおりです。

（連結部門別売上高）

（単位：百万円）

部門	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率（%）
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）		
ヘアケア用剤	15,313	57.4	14,654	58.1	658	4.3
染毛剤	9,889	37.1	9,148	36.3	741	7.5
パーマネットウェーブ用剤	1,168	4.4	1,036	4.1	131	11.2
化粧品	101	0.4	223	0.9	121	119.4
その他	178	0.7	150	0.6	28	16.0
合計	26,651	100.0	25,214	100.0	1,437	5.4

（国内海外別売上高）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率（%）
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）		
国内売上高	22,336	83.8	21,102	83.7	1,233	5.5
海外売上高	4,315	16.2	4,111	16.3	204	4.7
合計	26,651	100.0	25,214	100.0	1,437	5.4

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して18億87百万円減少の400億25百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して4億77百万円減少の198億53百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金が6億80百万円、現金及び預金が4億44百万円それぞれ減少し、商品及び製品が5億74百万円、原材料及び貯蔵品が1億52百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して14億9百万円減少の201億72百万円となりました。主な変動要因は、保有する投資有価証券の一部売却と上場株式の時価評価による評価益の減少に伴い、投資有価証券が16億66百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して2億80百万円減少の51億27百万円となりました。主な変動要因は、賞与引当金が3億96百万円、買掛金が2億14百万円それぞれ増加し、未払金が7億81百万円、未払法人税等が2億14百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して1億4百万円増加の7億26百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して17億11百万円減少の341億71百万円となりました。主な変動要因は、自己株式の取得が15億45百万円、上場株式の時価評価による評価益の減少に伴い、その他有価証券評価差額金が7億91百万円、円高による為替換算調整勘定が2億83百万円それぞれ減少し、利益剰余金が9億13百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.6%から85.4%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の1,096円02銭から1,051円34銭となりました。

(3) 対処すべき課題

- 1 販売態勢においては、フィールドパーソン(指導型営業部員)戦略の更なる進化に向けて、フィールド活動の選択と集中を行い、販売活動と美容室への教育支援の質を高めることで、活動内容と成果のモデルとなるミルボンサロンづくりを推進する。
- 2 製品開発においては、ヘアデザインの流行の変化を素早く捉え、製品開発に生かすT A C (Target Authority Customer) 製品開発システムをさらに充実する。
- 3 顧客の潜在的なニーズの発掘と、それに応える基礎基盤研究による製品開発技術の向上を図る。
- 4 国内外の工場の生産能力向上と物流システムの効率化の推進により、各地のニーズに合わせた製品供給態勢を構築する。
- 5 グローバルビジョンを推進するために、グローバルに活躍できる人材育成と仕組みの構築、経営感覚のある幹部育成、スペシャリストの養成を推進する。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は11億63百万円であります。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,408,000
計	120,408,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	33,117,234	33,117,234	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	33,117,234	33,117,234	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	-	33,117,234	-	2,000,000	-	199,120

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 614,600	-	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 32,293,800	322,938	同上
単元未満株式	普通株式 208,834	-	-
発行済株式総数	33,117,234	-	-
総株主の議決権	-	322,938	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ2,000株(議決権20個)及び68株含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が57株含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株)ミルボン	大阪市都島区善源寺町 2丁目3番35号	614,600	-	614,600	1.86
計	-	614,600	-	614,600	1.86

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,615,390	10,171,222
受取手形及び売掛金	4,180,186	3,499,407
商品及び製品	3,912,361	4,486,433
仕掛品	34,781	70,622
原材料及び貯蔵品	1,120,202	1,272,294
その他	470,610	357,786
貸倒引当金	3,185	4,728
流動資産合計	20,330,346	19,853,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,023,638	6,855,390
機械装置及び運搬具（純額）	2,007,962	1,939,577
土地	5,001,021	4,991,344
建設仮勘定	84,801	30,674
その他（純額）	581,100	584,266
有形固定資産合計	14,698,524	14,401,253
無形固定資産		
投資その他の資産	1,174,902	1,319,937
投資有価証券	3,991,136	2,324,351
長期貸付金	149,125	82,504
退職給付に係る資産	155,832	157,458
繰延税金資産	204,502	683,332
その他	1,266,204	1,261,583
貸倒引当金	58,381	58,381
投資その他の資産合計	5,708,420	4,450,849
固定資産合計	21,581,847	20,172,040
資産合計	41,912,194	40,025,079
負債の部		
流動負債		
買掛金	797,033	1,011,571
未払金	2,479,907	1,698,312
未払法人税等	891,258	676,516
賞与引当金	397,297	793,840
その他	841,726	946,922
流動負債合計	5,407,223	5,127,163
固定負債		
退職給付に係る負債	4,290	3,947
繰延税金負債	670	643
資産除去債務	505,563	542,238
その他	111,835	179,738
固定負債合計	622,359	726,567
負債合計	6,029,582	5,853,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	200,742	222,490
利益剰余金	33,266,155	34,179,362
自己株式	563,197	2,108,260
株主資本合計	34,903,700	34,293,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	773,082	18,845
繰延ヘッジ損益	-	46,422
為替換算調整勘定	267,184	15,887
退職給付に係る調整累計額	61,355	41,090
その他の包括利益累計額合計	978,911	122,244
純資産合計	35,882,612	34,171,347
負債純資産合計	41,912,194	40,025,079

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	26,651,910	25,214,042
売上原価	9,042,312	8,548,138
売上総利益	17,609,597	16,665,904
販売費及び一般管理費	12,433,817	12,358,616
営業利益	5,175,780	4,307,287
営業外収益		
受取利息	12,408	20,307
受取配当金	32,008	32,363
社宅負担金	12,906	3,280
補助金収入	44,013	39,674
その他	69,662	73,509
営業外収益合計	171,000	169,135
営業外費用		
持分法による投資損失	40,916	87,184
売上割引	470,230	462,842
為替差損	31,281	83,019
その他	280	1,223
営業外費用合計	542,709	634,270
経常利益	4,804,071	3,842,152
特別利益		
固定資産売却益	799	-
投資有価証券売却益	-	114,578
特別利益合計	799	114,578
特別損失		
固定資産売却損	3,403	-
固定資産除却損	11,256	15,454
特別損失合計	14,659	15,454
税金等調整前四半期純利益	4,790,210	3,941,276
法人税、住民税及び事業税	1,350,596	1,314,632
法人税等調整額	27,882	113,562
法人税等合計	1,378,479	1,201,069
四半期純利益	3,411,731	2,740,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,411,731	2,740,206

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,411,731	2,740,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,418	791,927
繰延ヘッジ損益	-	46,422
為替換算調整勘定	131,849	283,071
退職給付に係る調整額	42,153	20,264
その他の包括利益合計	104,114	1,101,156
四半期包括利益	3,307,617	1,639,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,307,617	1,639,050
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の処理について

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。
なお、前連結会計年度末日は金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
受取手形	102,349千円	-千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
減価償却費	1,084,791千円	1,186,781千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	982,193	30	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金
2019年7月31日 臨時取締役会	普通株式	883,960	27	2019年6月30日	2019年8月21日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	949,430	29	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金
2020年8月5日 取締役会	普通株式	877,569	27	2020年6月30日	2020年8月28日	利益剰余金

(2) 基準日が基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(3) 株主資本の金額に著しい変動

当社は、2020年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式249,500株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,545,063千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が2,108,260千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	104円21銭	84円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	3,411,731	2,740,206
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	3,411,731	2,740,206
普通株式の期中平均株式数(株)	32,739,431	32,538,723

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第61期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当については、2020年8月5日開催の取締役会において、2020年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	877,569千円
1株当たりの金額	27円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年8月28日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月13日

株式会社ミルボン
取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中 川 隆 之 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 俣 野 朋 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミルボンの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミルボン及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。